

(5月27日 定例総会)

挨拶

挨拶

会長
岡本 一 雄



皆様、こんにちは。トヨタ自動車の岡本でございます。今年度から竹中前会長の後任として会長の大役を拝命いたしました。本日は大変お忙しい中、特許庁岩井長官をはじめ、ご来賓の方々にもご出席いただいております。まことにありがとうございます。

また、先ほどは大場先生から、私たちが日ごろ悩んでおります問題について、大変的確なお話を聞かせていただきました。ほんとうにありがとうございます。

まずは、このたびの東日本大震災におきまして、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞いを申し上げます。千年に一度と言われておりますこの大震災に対しまして、国民一丸となって力を合わせて乗り切ることが何より大切だと思います。

このような大変なときに、総会員数1,200社を超える協会の会長という要職を務めさせていただくことになりまして、身の引き締まる思いでありますとともに、日本知的財産協会の会長として、この国の一刻も早い復興のお役に立てるよう、努力させていただきたいと思っております。皆様の温かいご支援とご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

私は入社以来、技術部門の中で車の開発に携わってまいりました関係で、知的財産とは大変深いかわり合いを持って過ごしてまいりました。また、専務のときには知財担当として激変します環境変化に対して、従来の常識にとらわれない備えを徹底するように指示してまいりましたが、近年、知的財産権の経営への影響がますます大きくなっているということを実感しているわけであります。

知的財産制度の本来の目的は、産業の発展に寄与することだというふうに認識しておりますが、違和感のある使われ方も最近見受けられると思っております。投資家からお金を集め製品をつくることなく、特許権のみを行使することにより、利益を上げようとする会社があることは既に皆様ご存じのとおりだと思っております。弊社も多くの対応を迫られており、大変困っている次第であります。

また、模倣、無断使用など知的財産権が尊重されることなく、先行者利益を享受できない事態も出来ております。このような状況に対しまして、本来の知的財産制度の趣旨に沿った運用、見直し及び尊重が行われるよう関係機関を含め、ご協力をお願いしたいと考えております。

アメリカに端を発しました金融危機による世界経済の激動、地球環境問題や食料問題、資源、エネルギー問題の顕在化。また、国内では人口の減少、少子高齢化の社会構造の変化、また中国、インドなど新興国の台頭による我が国の相対的地位の低下など、我が国を取り巻く諸情勢の変化は大変厳しく、企業、個人の生活にまで大きな影響を与えてきております。今後、我が国が持続的に発展し、安

本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

心安全で質の高い生活ができ、世界に貢献できる国としていくためには、世界をリードする科学技術の創出と発展が必要であり、それを支える知的財産制度の活用と時代に即した見直しが不可欠であると考えています。

昨年、小惑星探査機「はやぶさ」によりイトカワの微粒子を持ち帰ったニュースは、日本の科学技術のすごさを改めて知らしめるところとなり、久しぶりに明るい話題に日本中が拍手を送ったのは大変記憶に新しいところであります。このようにすぐれた日本の技術、伝統に裏打ちされました高い品質の物づくりを知的財産権で保護するとともに、経営、技術と密接に連携した知的財産戦略の策定は、技術開発と経済の発展に欠かすことができないものであります。また、それらを支える人材育成の重要性は論を待つまでもございませぬ。

昨年から当協会のスローガンは、「世界から期待され、世界をリードするJIPA」と変更され、世界への意見等発信をより積極的に行うとともに、一方では日本の産業界及び企業にとって最も有効な知的財産戦略は、何かを常に検討し、会員各社様にそうした検討結果の提供を着実にを行う活動が展開されてきたというふうにご報告しております。

本年度はこのスローガンのもと、引き続いて挑戦的なグローバル活動を推進していくことに変わりではなく、加えて、1番としてメリハリのある活動を行うこと。具体的には、必要な活動にはお金と人を出し惜しまず投入すること。

2つ目として、投資に対する成果をより求めること。具体的には、1年間の活動成果が見える形にして、会員企業様に対してご提案、情報提供することを目指して活動を推進することになっております。なお、活動は東日本大震災が会員企業様に与えた影響などを考慮した上での活動にならざるを得ないと考えておりますが、このようなきときであるからこそ、会員企業様の活力と元気を生み出せるような施策を適宜打ち出していきたいと考えています。

ただいま申し上げましたような、非常に厳しい環境の中、皆様方におかれましては協会活動にお時間をいただきますことは、大変なご負担と認識しております。先ほども無報酬というお話がありましたが、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。しかしながら、当協会を支えていただいておりますのは、会員、企業の皆様の使命感によるボランティアな活動こそが源泉であり、引き続き、積極的なご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、竹中会長、辻村副会長、雨宮副会長をはじめ、退任されます役員の皆様には、これまでのご尽力ありがとうございました。また、留任、新任いただきます皆様には、今後もよろしくお願ひ申し上げます。すばらしい未来を提案し、実現するには、技術力を高めていくことが最も重要であると信じています。さらにビジネスはますますグローバル化が進んでまいります。技術開発と経営戦略に知的財産権が、以前にも増して重要な時代になってきたという認識を新たにしています。皆様のご協力とご支援をもう一度お願ひいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうもご清聴ありがとうございました。